牛深港に初寄港した大型客船

「にっぽん丸」寄港

５月19日、大型客船「にっぽん丸」（総重量22,472ｔ、最大定員524人、全長166.6m）が、九州一周クルーズの途中に乗客330人を乗せ、牛深港に初めて寄港しました。

この日、船内では歓迎セレモニーが行われ、牛深ハイヤ保存会が牛深ハイヤ踊りを披露。その後、乗客はうしぶか海彩館や毎月第３日曜日に開催されているうしぶか朝市での買い物や食事をしたほか、イルカウォッチング（五和町）や崎津天主堂（河浦町）などの観光を行い、楽しい時間を過ごしていました。

その後、漁船団による海上船団パレードに見送られながら、次の寄港地に向けて牛深港を後にしました。

▲初寄港した「にっぽん丸」

▶船内での歓迎セレモニーのようす

交通ルールを守ってね！

御所浦保育所・交通安全指導教室

５月23日、御所浦保育所（全園児51人）で「交通安全指導教室」が行われました。

園児たちは、天草地区交通安全協会の講師の指導を受けながら、横断歩道を渡る練習やシートベルトを締め忘れないための“シートベルト体操”などを実施。講師が「交通ルールはしっかり守ろう」と呼びかけると、園児たちは手をあげて「はい」と元気にこたえていました。

▲横断歩道を渡る練習をする園児たち

▲「赤崎の香」900ｍℓ入り1,200円　1,800ｍℓ入り2,300円（いずれも化粧箱は別途200円）
「ふのよか」900ｍℓ入り1,200円（化粧箱は別途100円）

今年もお目見え!!「赤崎の香」「ふのよか」

赤崎・須子地区振興会がいも焼酎を企画・販売

有明町の赤崎地区振興会と須子地区振興会では、いも焼酎の「赤崎の香」と「ふのよか」を今年も企画し、地元の商店で販売しています。この焼酎は、地元の休耕地を活用し会員らで栽培したサツマイモが原料となっており、いずれも球磨郡内の酒造会社で製造されたものです。

購入方法などの詳細は、有明支所・まちづくり推進課㊿1111へ。

復興支援のお礼として

宮城県の村井県知事から感謝状

このほど、宮城県の村井嘉浩知事から、市が実施している東日本大震災の復旧・復興支援に対する感謝状が届きました。市では、平成23年３月11日の東日本大震災の発生以降、仮設住宅などの受付業務や給水支援活動、被災者の健康相談として、同県の東松島市・石巻市・南三陸町に市職員60人を派遣。現在も、１人を東松島市へ長期派遣しています。このほか、同県以外では公文書の復旧支援として、岩手県釜石市に市職員４人を派遣しました。

▲村井県知事から送られてきた感謝状

▲老人福祉施設での避難訓練のようす

万一の災害に備えて

栖本地区防災訓練

５月19日、栖本地区防災訓練が行われ、市消防団栖本方面隊と地区住民など約800人が参加しました。訓練は、地震や津波・大雨などの災害が発生したと想定し、避難・消火・炊き出し訓練などを町内12地区でそれぞれ実施。湯船原下区では、地区内にある老人福祉施設との合同による訓練が初めて行われました。

参加者は、万一の災害に備えて真剣に取り組んでいました。

いろんなことにチャレンジしよう！

河浦中学校・「ようこそ地域の先生」

河浦中学校では６月７日、「ようこそ地域の先生」と題して、第54次日本南極地域観測隊の一員として参加した、河浦町出身で同校卒業生の山﨑哲平さん（熊本市）の講話が行われました。山﨑さんは熊本大学の職員で、同隊員の募集があることを知り、志願して入隊。平成24年11月から同25年３月にかけて、資材輸送や気象情報の発信などを行う業務に従事されました。講話では、南極観測の歴史や基地での暮らしぶりを紹介。「いろんなことにチャレンジすることが大事」と話され、参加した同校の生徒など116人は熱心に聞き入っていました。

▲講話を行う山﨑さん